



「いこみなチャレンジ」伴走型事業者育成プログラム

地域のさらなる活性化を目指し、空き物件を活用して開業まで支援します

かつては駅前町として栄えていた生駒駅南口（いこみな）エリアでは、空き家や空き店舗が増加し、賑わいが低下しつつありましたが、近頃は、新規開業するお店も出てきています。

この地域の更なる活性化を目指し、所有者が大切にされてきた物件を活用して、お店をオープンしたい人や活動したい思いのある人に、専門家（メンター）が伴走支援するプログラム「いこみなチャレンジ」を、昨年に引き続き実施します。



■ プログラムの特長

- 1 「駅チカ」の便利な物件が見つかる…対象物件はすべて駅徒歩 10 分以内です
- 2 第一線のプロが伴走支援…飲食・物販・建築・金融のプロが事業計画を磨き上げます
- 3 「地域の応援団」ができる…イベント等を通じて開業前からファンがいる状態を目指せます

■ プログラムの概要

- 1 募集対象者 いこみなエリアで空き物件を探していて、これから事業を始めたい・広げたい人
いこみなエリアを盛り上げたい思いがあり、これから事業を始めたい人
- 2 キックオフイベント（事前説明会）
 - ① オンライン
6月2日（火）19：00～20：30、オンライン
 - ② 現地・物件見学ツアー
6月13日（土）15：00～17：30、現地（集合場所など、詳細は申込み後に個別通知）
◇申込み 特設サイトから (<https://ikomina-challenge.jp>)
- 3 候補物件（一例）

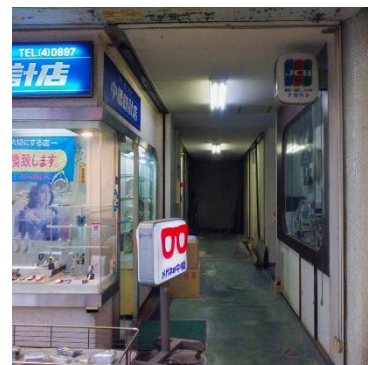
- ① 100年近く愛された老舗中国料理店



- ② さくら通りの赤レンガビル
2階テナントはあなたのキャンパス



- ③ ビルの奥に潜む
想像力を掻き立てる3坪の極小テナント



4 メンター

- ・亀岡史郎さん（担当分野：建築・設計）

建築家。設計事務所で経験を積んだ後、「キチ・アーキ」を設立。建築設計やインテリアデザインを行う傍ら、奈良市学園前でコーヒーが飲める観葉植物店「キチ」をプロデュース。



- ・小関ゆきさん（担当分野：物販経営）

「ママとこどもの笑顔に寄り添いたい」想いから、オンラインショップ「こどもふく nemo」を設立。ポップアップ出店の他、他ブランドのwebマーケティング支援などを手掛ける。



- ・萩原敬史さん（担当分野：飲食経営）

東生駒にある「IKOMA GOURMET STAND」オーナー。気軽に立ち寄っておいしい食事とコーヒーを楽しんでもらえる店を目指して、夫婦で一から店づくりを行った。



- ・北野祐揮さん（担当分野：まちづくり・飲食）

広告業界を経た後、デザイナーとして活動。大阪で野外シアターなどカルチャー関連のイベントの制作にも関わる。人々を繋いで、生駒にないものを産み出していく場として「REEF」を生駒駅南側にオープンした。



5 プログラムの流れ（予定）

6月2日・13日 キックオフイベント（事前説明会）

6月末 応募締め切り

7月 書類審査

7～11月 メンターによる伴走支援

11月 オーナー・地域住民に向けた公開プレゼンテーション

12～3月 開業に向けた支援（資金調達・改修工事）

6 昨年度の実績

エントリー25名のうち5名が優先交渉権を獲得し、うち2名が開業に向け準備中。

■ 昨年の参加者のコメント

「1人では見られなかった景色が今の私の原動力です」

念願の開業も1人では不安でしたが、プロジェクトを通じ街の人と深く繋がれました。イベント出展で「楽しみにしてるよ！」と声をかけてもらったことが大きな自信になり、開店前からファンがいる心強さを実感しています。いこみなは街全体がサポーター。皆さんの「やりたい！」を、ぜひこの街で形にしてみてください！

- ・高木 喬平さん

こだわりのスパイスカレーとクラフトビールが楽しめるお店の開業を目指し、参加。現在は9月のオープンに向けて、内装工事やメニュー開発の最終準備を進めている。



この件に関する報道関係からのお問合せ

生駒市都市づくり推進課拠点形成室（課長 萩原、室長 高谷）☎0743-74-1111（内線 3801）